

第 62 年度（平成 27 年度）事業報告

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

第 62 年度（平成 27 年度）事業報告

（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施した。

II. 事業の内容

1. 研究助成金の交付

平成 27 年度の研究助成金として、研究助成（全国対象 20 件 1,000 万円）、および特別研究助成（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象 2 件 500 万円）、計 22 件 1,500 万円を交付した。

1) 研究助成（50 万円/件・年）：

4 年目：5 件、 3 年目：5 件、 2 年目：5 件、 新規：5 件

計 20 件 計 1,000 万円

2) 特別研究助成

（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象、250 万円/件・年）：

2 年目：1 件、 新規：1 件

計 2 件 計 500 万円

総計 22 件 計 1,500 万円を交付した

各助成金の交付先は【別紙 1】の通り。

2. 研究助成企画および選考

(1) 平成 27 年 5 月 19 日 企画会議

平成 28 年度特別研究助成の募集テーマの選考および募集要項等の審議を行い、募集テーマを「難病・稀少疾病の治療法の開発を目指した研究に決定した。また、募集方法については、募集要項を大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県下の大学等研究機関へ郵送および篷庵社ホームページへの掲載により公示すること、また、募集期間を平成 27 年 9 月 1 日から 10 月 30 日とすることを決定した。以上の結果について、平成 27 年 5 月 28 日に選考委員長から理事長へ答申した。

(2) 平成 28 年 1 月 22 日 選考委員会（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

平成 28 年度被助成者の選考等を行い、特別研究助成 2 名、研究助成 5 名を決定した。以上の結果について、平成 28 年 2 月 10 日に選考委員長から理事長へ答申した。

(3) 平成 28 年 2 月 8 日 選出（推薦）委員会（書面開催）

平成 29 年度研究助成の 5 名の推薦委員を本財団外部理事（6 名）および外部評議員（7 名）からなる推薦委員会で互選により選出した。

3. 研究成果報告【別紙2】

第34回研究助成発表会を平成27年7月31日、塩野義製薬株式会社医薬研究センター（大阪府豊中市二葉町3丁目1番1号）において開催した。

4. 助成の募集

平成28年度「特別研究助成」の公募を行った。

III. 財団運営の概況

1. 理事会の決議事項

(1) 書面開催：平成27年5月18日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題1：定時評議員会招集の件

原案通り承認可決した。

議題2：第61年度（平成26年度）事業報告の件

第61年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）事業報告書について原案通り承認可決した。

議題3：第61年度（平成26年度）決算の件

第61年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）決算について原案通り承認可決した。

議題4：平成27年度収支予算書修正の件

平成27年度収支予算書を修正することについて原案通り承認可決した。

議題5：理事・監事選任の件

原案通り承認可決した。

(2) 平成27年6月12日

議題1：理事長（代表理事）選定の件

原案通り承認可決した。

議題2：第61年度（平成26年度）定期提出書類の件

原案通り承認可決した。

議題3：平成28年度特別研究助成募集テーマ決定の件

原案通り、平成28年度特別研究助成の募集テーマ「難病・稀少疾病の治療法の開発を目指した研究」とすること等、原案通り承認可決した。

議題4：推薦型助成の推薦および選考方法改定の件

理事および評議員により提案された意見を事務局で集約した改定案は来年3月に開催予定の理事会にて審議いただくことを説明した。なお、本件については評議員の意見を反映し、また、理事会での決定事項は報告事項として評議員へ報告することを付け加えた。その他、原案通り承認可決した。

報告事項：理事長は平成27年度1度目の業務執行状況報告を行なった。

(3) 書面開催：平成27年12月1日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題1：評議員会招集の件

原案通り承認可決した。

(4)平成 28 年 3 月 17 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：推薦型助成の推薦および選考方法改定の件

原案通り承認可決した。

議題 2：規程改定の件

「推薦に関する規程」を「研究助成候補者選出に関する規程」へ変更することおよび「助成金交付規程」の変更について、原案通り承認可決した。

議題 3：理事・評議員変更の件

原案通り承認可決した。

議題 4：第 63 年度（平成 28 年度）事業計画の件

第 63 年度（平成 28 年度）事業計画として研究助成金の交付件数を 23 件とすること及び平成 28 年 7 月 29 日に第 35 回研究助成発表会を開催することを原案通り承認可決した。

議題 5：第 63 年度（平成 28 年度）収支予算に関する件

第 63 年度（平成 28 年度）収支予算および資金調達及び設備投資の見込みについて原案通り承認可決した。

議題 6：平成 28 年度研究助成金受領者決定の件

平成 28 年 1 月 22 日開催の選考委員会の決議通り、平成 28 年度新規助成者について特別研究助成 2 名、研究助成 5 名を原案通り承認可決した。

議題 7：選考委員改選の件

原案通り承認可決した。

報告事項 1：理事長は平成 27 年度 2 度目の業務執行状況報告を行なった。

報告事項 2：個人番号制度への対応の件

2. 評議員会の決議事項

(1)平成 27 年 6 月 12 日定時評議員会（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：議長選任の件

原案通り承認可決した。

議題 2：議事録署名人選任の件

原案通り承認可決した。

議題 3：第 61 年度（平成 26 年度）事業報告の件

第 61 年度（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）事業報告書について、原案通り承認可決した。

議題 4：第 61 年度（平成 26 年度）決算の件

第 61 年度（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録について原案通り承認可決した。

議題 5：第 62 年度（平成 27 年度）収支予算書修正の件

原案通り承認可決した。

議題 6：理事・監事選任の件

原案通り承認可決した。

議題 7：評議員選任の件

原案通り承認可決した。

報告事項：推薦型助成の推薦および選考方法改定の件

(2)平成 28 年 3 月 17 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：議長選任の件

原案通り承認可決した。

議題 2：議事録署名人選選任の件

原案通り承認可決した。

議題 3：推薦型助成の推薦および選考方法改定の件

原案通り承認可決した。

議題 4：理事・評議員変更の件

原案通り承認可決した。

議題 5：第 63 年度（平成 28 年度）事業計画の件

第 63 年度（平成 28 年度）事業計画として研究助成金の交付件数を 23 件とすること及び平成 28 年 7 月 29 日に第 35 回研究助成発表会を開催することを原案通り承認可決した。

議題 6：第 63 年度（平成 28 年度）収支予算に関する件

第 63 年度（平成 28 年度）収支予算および資金調達及び設備投資の見込みについて原案通り承認可決した。

報告事項 1：規程改定の件

報告事項 2：平成 28 年度研究助成金受領者決定の件

報告事項 3：選考委員改選の件

報告事項 4：個人番号制度への対応の件

3. 報告事項

(1)平成 27 年 4 月 24 日

大阪府中央府税事務所長宛に平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの「法人府民税の減免申請書」を提出した。

(2)平成 27 年 4 月 24 日

大阪市長宛に平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの「法人市民税減免申請書」を提出した。

(3)平成 27 年 5 月 11 日

大阪市長より平成 27 年 4 月 30 日付「法人市民税減免通知書」を受領した。

(4)平成 27 年 6 月 11 日

大阪府中央府税事務所長から平成27年5月29日付「法人府民税の減免通知書」を受領した。

(5)平成 27 年 6 月 22 日

行政庁（内閣府）へ第 61 年度（平成 26 年度）事業報告書および監査報告書を提出した。

(6)平成 27 年 6 月 23 日

法務局への理事・監事・評議員の変更登記を完了した。

(7)平成 27 年 7 月 13 日

行政庁（内閣府）へ理事・監事・評議員の変更届出を提出した。

(8)平成 28 年 3 月 28 日

行政庁（内閣府）へ平成 28 年度事業計画書および収支予算書等の定期提出書類を提出した。

以上

平成 27 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 50 万円×20 件= 計 1,000 万円)

助成	所属 (申請時)	研究者	研究テーマ
4 年目	広島大学大学院 医歯薬学総合研究科	佐々木 道子	立体化学的に不安定なキラルカルバニオンの合成化学への展開
4 年目	静岡県立大学 食品栄養科学部	三好 規之	酸化コレステロール secosterol の生物活性機構解析
4 年目	滋賀医科大学	小島 秀人	糖尿病性神経障害の治癒をめざす TNF- α の分子標的療法
4 年目	名古屋市立大学大学院 薬学研究科	中川 秀彦	光制御可能な NO・活性酸素ドナー化合物の開発
4 年目	大阪市立大学大学院医学研究科 分子病態薬理学	泉 康雄	超小型ミニブタを用いた新たな薬効評価系の確立
3 年目	熊本大学大学院生命科学研究部 薬物活性学分野	香月 博志	加齢・生活習慣要因による視床下部機能の変調に関わる分子機序の解明
3 年目	東京大学 工学系研究科	柴山 創太郎	「大学の企業化」による医薬品研究開発に対する影響の分析
3 年目	昭和薬科大学	岡本 巖	動的活性制御を指向した環境応答型新規 <i>N</i> -アルキル芳香族アミドの創製
3 年目	名古屋工業大学大学院 工学研究科	柴田 哲男	不活性結合活性化を伴うトリフルオロメチル化反応の開発
3 年目	北海道大学大学院 先端生命科学研究院	比能 洋	筋ジストロフィー、多発性硬化症などの神経疾患に関与する <i>O</i> -マンノース型糖鎖修飾の合成化学的機能解明
2 年目	京都大学大学院薬学研究科	竹本 佳司	抗多剤耐性結核菌活性を有する caprazamycin 類の合成研究
2 年目	山形大学地域教育文化学部 食環境デザインコース	鈴木 拓史	希少糖 (レアシュガー) の消化管吸収機構と小腸機能回復に与える影響
2 年目	金沢大学医薬保健研究域 (薬学系)	加藤 将夫	有機カオチン膜輸送体の臓器疾患と薬物治療に及ぼす役割
2 年目	東京大学大学院医学系研究科	浦野 泰照	蛍光プローブの論理的精密設計に基づく、細胞生命現象・ <i>in vivo</i> 微小がんイメージングの実現
2 年目	鳥取大学医学部 分子薬理学分野	富田 修平	肺高血圧症に伴う血管リモデリングに寄与する低酸素応答性エフェクター分子の解析
新規	富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学)	矢倉 隆之	グリーンケミストリーを指向した新規触媒の開発と応用
新規	京都薬科大学 生薬学分野	中村 誠宏	メディシナルフラワーを素材とした生体機能性成分の探索
新規	東京薬科大学 薬学部	矢内 光	強酸性炭素酸とその共役塩基に着目した新触媒の開発
新規	首都大学東京 都市教養学部 理工学系生命科学コース	安藤 香奈絵	神経細胞内ミトコンドリアの局在制御とその破綻による神経変性のメカニズム
新規	滋賀医科大学 薬理学	今村 武史	糖尿病病態因子による幹細胞障害の同定と治療法の試み

◆ 特別研究助成 (1 件 250 万円×2 件 = 計 500 万円)

助成	所属 (申請時)	研究者名	研究テーマ
2 年目	大阪大学微生物病研究所	山縣 一夫	メチル化 DNA 可視化マウスを用いた病態評価法の確立
新規	独立行政法人医薬基盤研究所 バイオ創薬プロジェクト	角田 慎一	蛋白質工学的手法によるサイトカイン-レセプター相互作用の複雑性の理解とその制御による革新的創薬

以上

第34回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日時：平成27年7月31日(金)13時00分から17時20分

場所：塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム
(大阪府豊中市二葉町3丁目1番1号)

TEL：06-6331-5105【事務局直通】/06-6331-8081【代表】

13:00-13:05 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二

演題(講演25分、討論15分)

座長

13:05-13:45 1. 環境ニッチに着目した筋萎縮性側索硬化症の創薬ターゲット探索
三澤 日出巳 先生 佐藤 公道 先生
(慶應義塾大学薬学部 薬理学講座 薬理学研究室)

13:45-14:25 2. トランスポーターを基盤とする創薬と最適薬物療法に関する研究
玉井 郁巳 先生 辻 彰 先生
(金沢大学医薬保健研究域 薬学系 薬物動態学研究室)

14:25-15:05 3. 新規概念に基づくエナンチオ選択的触媒反応の創出と応用
笹井 宏明 先生 村橋 俊一 先生
(大阪大学産業科学研究所 機能物質化学研究分野)

15:05-15:20 休憩

15:20-16:00 4. ベンザイン反応を基軸とする縮合複素環化合物の位置制御合成
赤井 周司 先生 北 泰行 先生
(大阪大学大学院薬学研究科 薬品製造化学分野)

16:00-16:40 5. 新規1,3-双極子の開発と応用研究
田村 修 先生 北川 勲 先生
(昭和薬科大学薬学部 薬化学研究室) 代理 北 泰行 先生

16:40-17:20 6. 《特別研究助成》
小員環炭化水素を構造素子とする創薬リード化合物の創製
高須 清誠 先生 塩野義製薬(株)
(京都大学大学院薬学研究科 薬品合成化学分野) 井宗 康悦 氏

以上

前記のとおりご報告いたします。

平成 28 年 6 月

公益財団法人 篷 庵 社

理事長 武 田 禮 二

附属明細書

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 28 年 6 月

公益財団法人 篷庵社